管内市町村の概要

旭川市 Asahikawa City

●面積：747.66km²
●人口：327,960 人
●市町村名の由来
アイヌ語「チュプ」（太陽）「ペッ」（川）の意訳

●市町村の概況
「行動展示」で有名な旭山動物園を有し、石狩川をはじめ多くの河川に育まれ、大雪山連峰とそれに連なる山並みに抱かれた水と緑に輝くまち。豊かな自然と様々な都市機能が調和し、北北海道の拠点都市として重要な役割を担っています。

士別市 Shibetsu City

●面積：1,119.22km²
●人口：17,676 人
●市町村名の由来
アイヌ語「シペッ」（大きい川、本流）から転訛

●市町村の概況
天塩川の源流部に位置し、天塩川の豊かな水に恵まれた農業・林業のまち。「サフォーク羊」や「自動車等試験研究」、「合宿の里」を柱にまちづくりを進めており、夏と冬は多くの団体が合宿に訪れ、冬は自動車やタイヤなどの試験研究が数多く行われています。

名寄市 Nayoro City

●面積：535.20km²
●人口：26,663 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ナイ・オロ・プト」（川・の処の・口）から転訛

●市町村の概況
作付面積日本一の「もち米」や有数の生産量を誇る「グリーンアスパラガス」などの農業を基幹とし、夏はひまわりが咲き誇り、冬は雪質日本一のピヤシリスキー場や自然現象サンピラーなどの冬の魅力もあふれるまち。これら多様な財産を活かしたまちづくりを進めています。

富良野市 Furano City

●面積：600.71km²
●人口：20,617 人
●市町村名の由来
アイヌ語「フラヌイ」（臭・持つ・所）から転訛

●市町村の概況
北海道の中心に位置し、毎年７月には「北海へそ祭り」を開催。農業と観光を基幹産業とし、農業は多様な農産物に加え、そこから農産加工品が誕生。観光は、国際的なスキー場やテレビドラマなどのロケ地、自然景観などから多くの観光客が訪れています。

鷹栖町 Takasu Town

●面積：139.42km²
●人口：6,701 人
●市町村名の由来
アイヌ語「チカップニ」（大鳥のすむ巣のある所）からの意訳

●市町村の概況
稲作を中心とした農業を基幹とする上川盆地北部に位置するまち。「福祉」や「健康づくり」の取組を大切にしたまちづくりを進めています。また、農業の振興を図るとともに農・商・工が一体となった複合的な産業形成を推進しています。

東神楽町 Higashikagura Town

●面積：68.50km²
●人口：10,110 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ヘッチェウシ」（神々の遊ぶところ）を意訳したもので、分村の際に母村（神楽村）の東側にあったことから「東」を冠した。

●市町村の概況
空の玄関口である旭川空港が立地し、「花」を活かした美しい環境整備を進めています。子育て支援と教育の充実を目指した取組に力を入れ、令和２年国勢調査では年少人口率が道内で第１位でした。道内有数の米どころであり、少量多品種の都市近郊型農業も盛んです。また、高品質な家具生産の地としても知られています。

当麻町 Toma Town

●面積：204.90km²
●人口：6,267 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ト」（湖沼又は湿地）「オマ」（～に入る）から転訛

●市町村の概況
上川盆地東部に位置し、北海道を代表する優良米の産地。「でんすけすいか」の生産地としても有名。稲作・そ菜・花きなどの農業と道指定天然記念物「当麻鍾乳洞」、「とうまスポーツランド」などを中心としたスポーツ観光を展開しているほか、食育・木育・花育による心の教育「心育」を推進しています。

比布町 Pippu Town

●面積：86.90km²
●人口：3,532 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ピピ」または「ピプ」（沼多き所または石多き所）から転訛

●市町村の概況
大雪山連峰の展望が美しい「スキーといちご」のまちで農業が基幹産業であり、「ゆめぴりか」発祥の町です。ウィンタースポーツ、キャンプ、パークゴルフなど一年を通じて「ぴっぷスキー場」・「遊湯ぴっぷ」周辺などで各種スポーツとレクリエーションを楽しむことができます。

愛別町 Aibetsu Town

●面積：250.13km²
●人口：2,612 人
●市町村名の由来
アイヌ語「アイペッ」（矢川）から転訛。この辺一帯の土地が急傾斜で川の流れが矢の如く速いことによる。

●市町村の概況
米・畜産・きのこを基幹とする農業のまち。道内有数のきのこの産地で、えのきたけ、なめこ、まいたけ、しいたけなどが年間を通じて生産されています。愛別産の農畜産物のブランド化を目指し、生産・加工・流通を一元化した６次産業化に向けた取組を進めています。

上川町 Kamikawa Town

●面積：1,049.47km²
●人口：3,308 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ペニ・ウン・グル・コタン」（上川人の村）を意訳

●市町村の概況
石狩川最上流部に位置し、大雪山国立公園の玄関口。魅力あふれる四季の景色や渓谷と自然に囲まれ、層雲峡などの３温泉を有す道内有数の国際観光のまち。大雪高原・旭ヶ丘では、自然と食とガーデンを中心とする観光地づくりを進め、農・商・観の連携による「おもてなし」のまちづくりに力を注いでいます。

東川町 Higashikawa Town

●面積：247.30km²
●人口：8,390 人
●市町村名の由来
アイヌ語「チュプペツ」（日の川）あるいは「チュプカペツ」（東の川）の意訳

●市町村の概況
大雪山国立公園の麓に位置し、良質な水を活かした東川米や野菜の生産、カフェ、家具・クラフトが盛んです。旭岳温泉・天人峡温泉をはじめとした豊かな自然も魅力の一つ。「写真」文化を軸に、自然や文化、人と人の出会いを大切に、「写真映りの良い町づくり」を進めています。

美瑛町 Biei Town

●面積：676.78km²
●人口：9,636 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ビイェ」（油ぎった川）から転訛。「美しい玉の光のように」という意味を込めて命名

●市町村の概況
「丘のまちびえい」として十勝岳の山麓に広がる美しい農村景観のまちです。すばらしい景観を地域の資産として有効に活用し自立を図るべく、全国各地の町村と連携し「日本で最も美しい村」連合の取組を行っています。また、十勝岳の火山噴火に備え防災対策を進めています。

上富良野町 Kamifurano Town

●面積：237.10km²
●人口：10,342 人
●市町村名の由来
富良野川上流に位置していたことから「富良野」に「上」の字を冠して「上富良野」となった。

●市町村の概況
十勝岳連峰の山麓に広がる豊かな自然と農畜産物に恵まれたまちです。ラベンダーや丘陵地が織りなす景観、十勝岳温泉郷などの観光資源を活かしたまちづくりや、小説「泥流地帯」の映画化プロジェクトに取り組んでいます。

中富良野町 Nakafurano Town

●面積：108.65km²
●人口：4,796 人
●市町村名の由来
富良野原野の中心に位置することから名付けられた。

●市町村の概況
富良野盆地に位置し「クリーン農業推進の町」を宣言して環境保全型農業に積極的に取り組み、「クリーン・グリーン」をキーワードにまちづくりを進めています。遠かに広がる田園風景、十勝岳連峰の山並、そして大地を色鮮やかに染め上げるラベンダーや花達を求めて、多くの観光客が訪れています。

南富良野町 Minamifurano Town

●面積：665.54km²
●人口：2,363 人
●市町村名の由来
富良野地方の南部に位置することから名付けられた。

●市町村の概況
広大な森林と清らかな水など自然環境に恵まれた畑作を基幹とする農林業のまち。「太陽と森と湖のまち」として体験型・滞在型観光の振興を図っており、空知川やかなやま湖でのラフティング、カヌー、釣り、キャンプなどアウトドア活動のメッカとなっています。幾寅駅は映画「鉄道員（ぽっぽや）」のロケ地です。

占冠村 Shimukappu Village

●面積：571.41km²
●人口：1,229 人
●市町村名の由来
アイヌ語「シモカプ」（とても静かで平和な上流の場所）から転訛

●市町村の概況
管内最南端に位置し、豊かな自然に恵まれた環境を活かし、農業・林業・酪農を基幹に観光産業などの振興を進めているまちです。トマム地区の大規模リゾートをはじめ、鵡川のラフティングなど自然と触れあい体感できる村づくりを進めています。

和寒町 Wassamu Town

●面積：225.11km²
●人口：3,097 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ワット・サム」（ニレの木の傍ら）から転訛

●市町村の概況
和寒町は、作付け日本トップクラスの「カボチャ」と、雪の下で甘みを増したキャベツ「越冬キャベツ」で知られている農業の町です。キャンプやカヌーで人気の「南丘森林公園」や小さいながらもオリンピアンを輩出してきた「東山スキー場」などが人気を博しています。「どんとこい！わっさむ夏まつり」や「全日本玉入れ選手権」などユニークなお祭りやイベントを開催しています。

剣淵町 Kenbuchi Town

●面積：130.99km²
●人口：2,950 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ケネプチ」（ハンの木・その川口）から転訛

●市町村の概況
「人・夢・大地　次代につなぐ　絵本の里けんぶち」をテーマに優しさあふれる「絵本の里」づくりを展開。絵本・児童書約53,000冊の蔵書を誇る「絵本の館」は圧巻。道の駅「絵本の里けんぶち」では基幹産業の農業を活かし交流人口の増と地域産業の活性化を図っています。

下川町 Shimokawa Town

●面積：644.20km²
●人口：3,098 人
●市町村名の由来
アイヌ語「パンケ・ヌカナン」（下・川）から意訳

●市町村の概況
農業・林業が基幹産業。町として循環型森林経営や森林バイオマスによる熱エネルギーの自給に取組み、平成30年には「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されるなど、新たな社会モデルの構築を進めています。「万里長城」や下川町発祥の「アイスキャンドル」など自然と調和のとれた豊かで持続可能なまちづくりに取組んでいます。

美深町 Bifuka Town

●面積：672.09km²
●人口：3,991 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ビウカ」（石の多い場所）から転訛

●市町村の概況
農業と林業を基幹産業とし、チョウザメ飼育による「キャビア」生産に取り組んでいます。チョウザメ料理が堪能できる「びふか温泉」やキャンプ場、パークゴルフ場を完備した「びふかアイランド」、松山湿原、函岳、天塩川カヌー体験、トロッコ乗車など、大自然をいかした観光が魅力です。

音威子府村 Otoineppu Village

●面積：275.63km²
●人口：682 人
●市町村名の由来
アイヌ語「オ・トゥネ・プ」（濁りたる泥川、漂木の堆積する川口、または切れ曲がる川尻）から転訛

●市町村の概況
森に囲まれ畑作・酪農を基幹とするまち。「北海道」命名の地。「森と水と人が織りなす匠の里」をテーマに森と共にいきいき輝く地域を目指して村づくりを進めており、砂澤ビッキ作品を展示する「アトリエ３モア」、「木遊館」などの施設があり、ゆっくりと流れる時間を体感できます。

中川町 Nakagawa Town

●面積：594.74km²
●人口：1,413 人
●市町村名の由来
中川郡の郡名から名付けられた。

●市町村の概況
天塩川が貫流する酪農などの農林業が基幹産業のまち。まちのすばらしさを実感できる「居住環境づくり」と「移住者の受け入れ」に取り組んでおり、化石をはじめ地域資源を活用し地域を丸ごと博物館とみたてる「エコミュージアム構想」を推進し、中川町の文化を創出・発信・伝承するとともに、町産木材のブランド化や木育などの「森林文化の再生」に取り組んでいます。

幌加内町 Horokanai Town

●面積：767.04km²
●人口：1,332 人
●市町村名の由来
アイヌ語「ホロカナイ」（逆戻りする川）

●市町村の概況
「そばの作付面積・生産量」「最大の人造湖朱鞠内湖」「最寒記録マイナス41.2度」の３つの日本一を有する農業が基幹産業のまち。農業と共に朱鞠内湖を中心とした観光を産業の中核に「人に自然にやさしい故郷づくり」をテーマとしてまちづくりを進めています。

※「面積」は令和4年10月1日現在全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院調べ）、「人口」は令和4年1月1日現在住民基本台帳人口・世帯数（北海道総合政策部地域行政局市町村課調べ）。
※「市町村名の由来」については諸説あり